



積み杉ラウンジ

木の素材を活かした「展示ウォール」、「まん中ブース」、「学びパーゴラ」によって構成したラウンジが特徴です。北東側と南西側の両方壁面には、建物やインテリアを半透明で見る視覚効果を生み出す「展示ウォール」を設置。展示ウォールには、ベンチ・展示台・カウンターを備えた「まん中ブース」を設置。「展示ウォール」と「まん中ブース」の間に、壁面にスペースを設けるように、カウンターのない3つの「学びパーゴラ」を設置しています。「展示ウォール」、「まん中ブース」、「学びパーゴラ」によって形成され、木に囲われたスペースには、広く使えるテーブル席、打ち合わせ等にも使えるブースのテーブル席、個人の学びの場にも使えるハイカウンター席等、利用者が思い通りに過ごすことのできる場を設けています。また、テーブルやチェアを移動することで、展示イベントや講座会、読み聞かせイベント等の多様なイベントにも対応できる空間となっています。

積み上げる木材は100%大府産内産材で、一部流通材の寸法である105角と120角のものを使用しています。他の施設にも参照できるモジュール的な計画とともに、この計画を参照している材料会社等の施設への供給が円滑なものであることが期待されています。テーブルやチェアは既製の材料、塗装等を発注し、既製スタイルとして、天板・座面・背板を99%大府産内産材の材料を使用します。

■木材量と産地、及び木材の調達体制

ウォール・ブース・パーゴラ		家具	
材料	展示内材 100% 材 105角材：10材 材 120角材：13材	天板材：大府産内産材 99% テーブル天板・チェア脚板・座面 材料：D1-フィッシュボーン材 3.4㎡	
調		大府産杉材組合（原木）	
運		松原産材材（製材・乾燥）	
送		大府産杉材材（調製）	
体	千早杉木（原木） 久倉杉木（製材・乾燥） 千早杉木（加工・施工）	例タナリ（杉木製）	
制		近藤興業（加工・施工）	